

第2回 厚生労働省のEBPM推進に係る有識者検証会

今年度の取組で見た課題 について

株式会社メトリクスワークコンサルタンツ

2026年2月13日



行政事業レビューシート(以下「RS」という。)の点検・助言や効果検証等を実施して見えた課題は以下のとおり

① RSの点検・助言を実施して見えた課題

■ RSのEBPM関係部分に関する知識が職員に浸透していない

- 概要・目的欄や効果発現経路が適切に記載されていない事業が多く見られたことから、RSのEBPM関係部分に関する実践的な知識や内閣官房行政改革・効率化推進事務局が作成しているRSに関する執務参考資料が職員に浸透していないと考えられる

② 効果検証を実施して見えた課題

■ アウトプットが低調であることの原因把握が不十分である

- 景気変動等により、事業の必要性が変わることもあるため、担当部局はアウトプットが低調であることの原因を把握することが必要である

■ 事業利用者への効果等に係る評価が不十分である

- 統計分析が実施できなくても、担当部局は事業を利用した人々に効果をもたらしたか否かや、その人々が行政による支援が必要な層か否かを評価することが必要である

③ EBPMよろず相談所を実施して見えた課題

■ RSに関する相談が少ない

- RSの点検では、適切に記載されていない事業が多く見られたにもかかわらず、RSに関する相談が少ない

④ EBPM研修を実施して見えた課題

■ 基礎研修:RSの書き方に特化した研修があった方がよい

- 受講者アンケートでは、「RSに自分が担当する事業のロジックを記載するに当たり、RSの書き方に特化したマニュアルや研修があった方がよい」という意見が見られた

■ 応用研修:本来受講すべき対象者が受講していない可能性がある

- 実施に当たっては、省内に一般的な受講案内を送付しただけであるため、ターゲットが明確でなく、本来受講すべき対象者が受講していない可能性がある

■ 応用研修:前半(因果推論の講義)と後半(研究報告)で扱う内容の難易度に差がある

- 受講者アンケートでは、「後半の研究報告で扱う知識や用語が専門的であったため、理解が難しかった」という意見が見られた

⑤ その他業務を実施して見えた課題

■ 新たな効果検証のスキームの実施に当たり、効果検証対象事業の確実な選定が必要となる

- 新たな効果検証のスキームの実施に当たり、効果検証のニーズを把握し、基本的には毎年度、効果検証対象事業を確実に選定する必要がある